

はなし
×
ちくば

チクバ外科広報誌 VOL.30
2023.APRIL



1990

大腸内視鏡に電子スコープを導入
日本大腸肛門病学会専門医修練施設認定

1989

「医療法人天馬会」設立

1988

第43回日本大腸肛門病学会開催(副会長・竹馬浩)

1986

増改築により80床

もとで大腸内視鏡検査を学ぶ
瀧上医師渡米、ベス・イスラエル大学 新谷弘実先生の

1982

1981

大西病院(三重県松阪市)と病院間姉妹縁組提携

1979

増改築により病院化し51床
年間手術数1000例を越す

1978

院内保育室完成
医事コンピューター導入

1972

19床の有床診療所として開院



1979年2月 年間手術1000件



1978年 初代竹の子保育室建つ



1972年 開院式の日



1985年増築



1981年松阪の大西病院と姉妹提携親善訪問

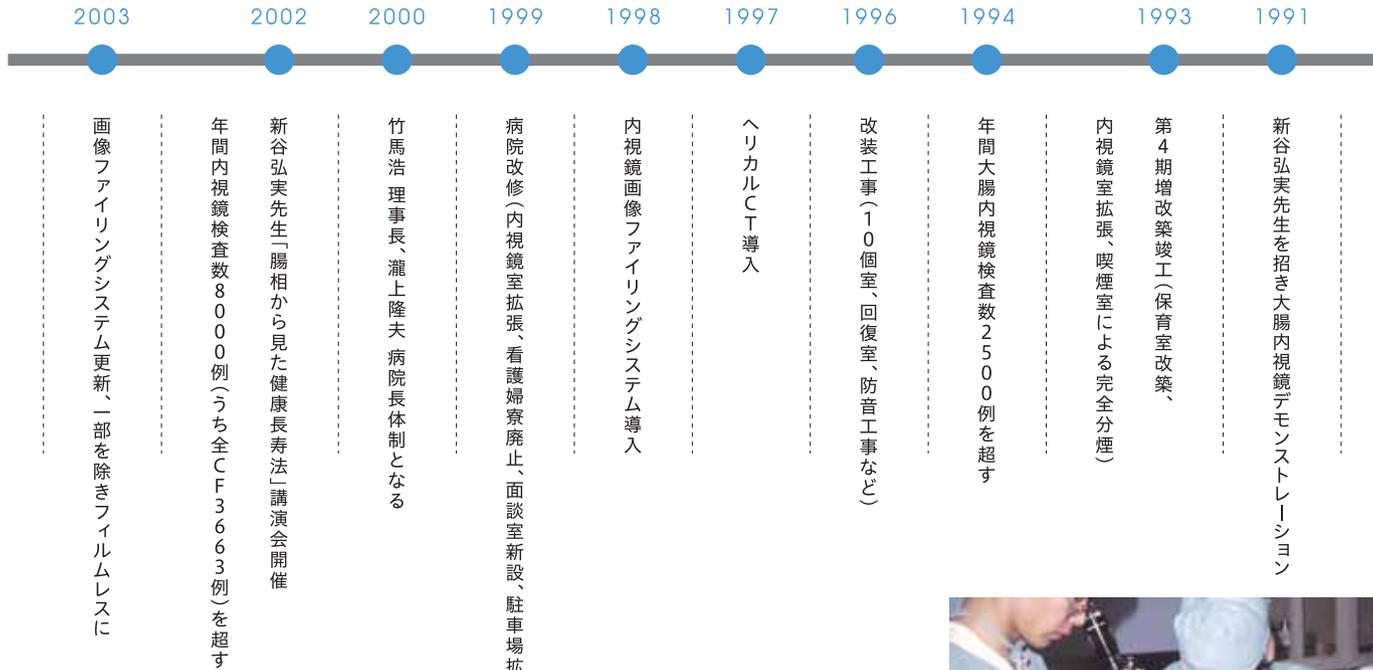


1973年1月 チクバ外科開院1周年

Chikuba Hospital

for Gastrointestinal and Colorectal Surgery

TIMELINE



2002年10月 大腸肛門病学会



2001年



1997年8月25周年



1999年頃



1991年 大腸内視鏡デモンストレーション

2012

竹馬浩 会長、竹馬彰 理事長体制となる

2010

CT装置入れ替え、MDCCT(16列)導入

2009

新病院竣工・移転

2008

電子カルテシステム導入

2007

レントゲン装置入れ替え

2006

外來待ち順番表示システムの導入
岡山県禁煙実施施設の認定取得

2005

CT装置入れ替え
病院機能評価Ver4認定

2004

ISO9001:2000認定(医療サービス全般)取得
ホームページ全面更新
内視鏡システム入れ替え

2003

病院改修工事一般病床全面リニューアル



2010年の病院



2012年 竹馬彰 理事長就任



2010年9月 松岡賞



2002年 30周年



2008年 電子カルテ導入

Chikuba Hospital

for Gastrointestinal and Colorectal Surgery

TIMELINE

2022

2019

2018

2016

2015

2013



2022年 50周年モニュメント

50周年

コロナ患者受け入れ開始

IBDセンター開設

瀧上隆夫 名誉院長、竹馬彰 理事長・院長体制となる

管理棟竣工

内視鏡室増設4部屋となる

DPC対象病院となる

病院機能評価3rd G・V・e・r 1.0認定

内視鏡装置・スコープ入れ替え

新物品管理システム導入

新腹腔鏡システム導入



2018年 管理棟竣工



IBDセンター長



新腹腔鏡システム導入



2023年のチクバ外科



ICT感染対策チーム大活躍



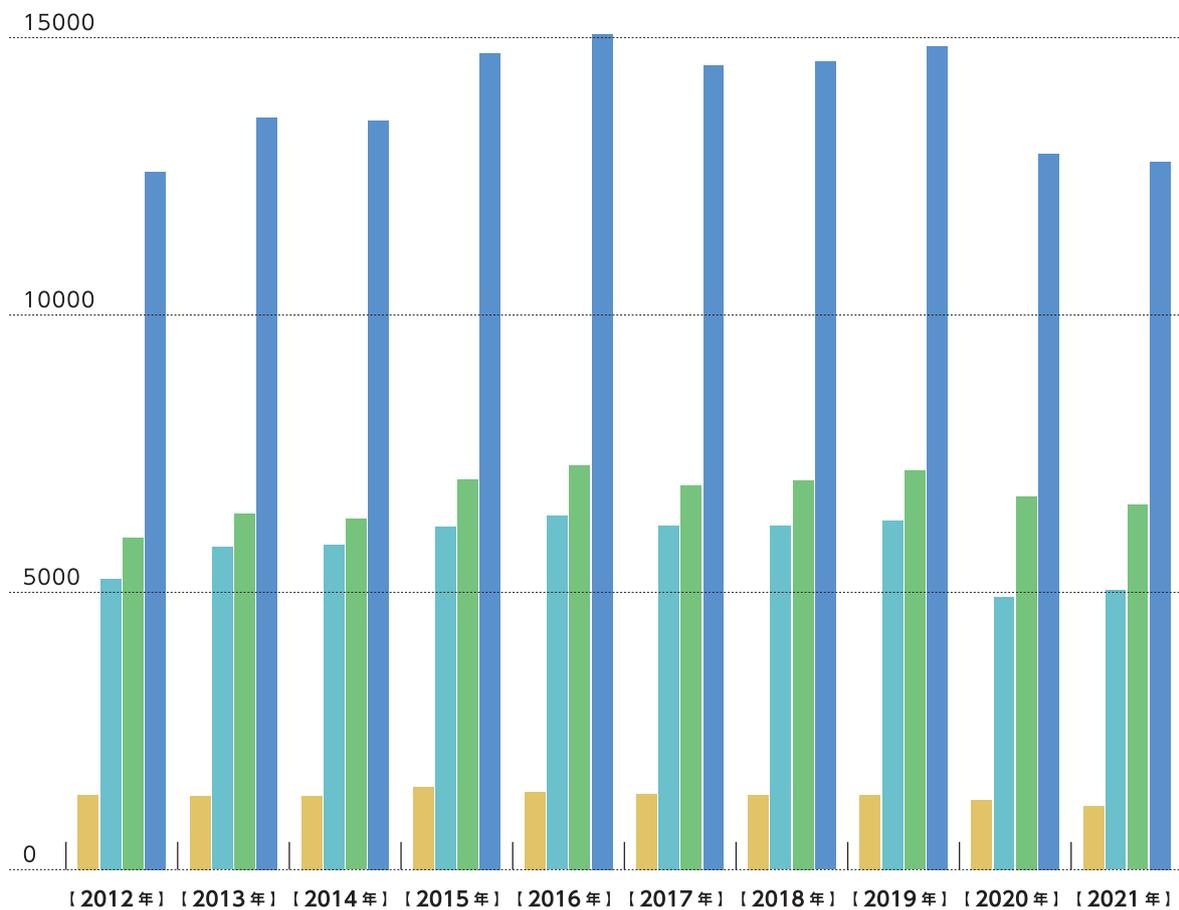
内視鏡室増設

最近10年間

消化器 内視鏡 検査

2012.1 ▶ 2021.12

	SF その他	胃内視鏡GIF	大腸内視鏡CF	総 数
〔2012年〕	1,352	5,282	6,020	12,654
〔2013年〕	1,334	5,850	6,455	13,639
〔2014年〕	1,335	5,898	6,359	13,592
〔2015年〕	1,509	6,217	7,087	14,813
〔2016年〕	1,404	6,416	7,341	15,161
〔2017年〕	1,378	6,241	6,976	14,595
〔2018年〕	1,358	6,231	7,066	14,655
〔2019年〕	1,361	6,334	7,237	14,932
〔2020年〕	1,262	4,950	6,777	12,989
〔2021年〕	1,156	5,066	6,616	12,838



医療法人天馬会 会長 竹馬 浩 お別れの会

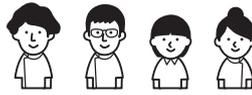
2022年11月23日(水) 倉敷アイビースクエア エメラルドホール



医療法人天馬会 会長 竹馬 浩のお別れの会には多くの方にご参列いただきまして誠にありがとうございました
県内外から総勢四百名をこえる医療関係者や地域の方々が故人との最後の別れに足をおはこび
くださいました
献花方式で執り行いました会場ではチクバ外科の軌跡や故人の在りし日の姿をパネル展示し
スクリーンに故人が撮りためた花や山の写真を投影いたしました
さながら同窓会のような雰囲気の中、ご参列の皆さまが円卓を囲み故人との思い出を語り合っ
ておいででした

故人が自費出版した「母の背中」病院開設時の「決意」とともに故人が生前に書き残した「お別
れの言葉」を記した葉をお渡しし 散会となりました

生前に皆さまから賜りましたご厚情に 故人に代わり 深く感謝申し上げます



STAFF

スタッフ紹介

期待のニューフェイス

松本早紀

SAKI MATSUMOTO

病棟勤務

趣味・ストレス解消法

音楽フェス、ライブに行くこと
愛犬のお世話
(最近家族になりました)

好きな言葉

なるようになる

仕事へのこだわり

コミュニケーションを大切に、患者様の
思いに寄り添った看護を心がけています



期待のニューフェイス

松本理恵子

RIEKO MATSUMOTO

病棟勤務

趣味・ストレス解消法

旅行・グルメ・キャンプ始めました
家でゆっくり過ごす時間も好きです

好きな言葉

心

仕事へのこだわり

患者様の思いに寄りそいながら
安心・安全な看護を提供できるよう
努めていきたいと思っています



期待のニューフェイス

鳴川萌々果

MOMOKA NARUKAWA

外来勤務

趣味・ストレス解消法

バドミントンと
パン・焼き菓子屋さんめぐり
特にベーグルとスコーンが好きです

好きな言葉

なんとかなる

仕事へのこだわり

不安な気持ちでくる患者さんが
安心して診察や治療が受けれるように
関わっていきたい



期待のニューフェイス

山本ひなの

HINANO YAMAMOTO

栄養課

趣味・ストレス解消法

友達とカフェ巡り

好きな言葉

なるようになる

仕事へのこだわり

患者さんや職員の方との
コミュニケーションを大切に、
信頼していただける管理栄養士で
ありたいと思っています



管理栄養士が
オススメする
メニュー

青魚の大葉包み
麴ソース

材料 (2人分)

- 青魚 (75g程度の切り身) 2切れ
- 酒 適量
- 大葉 6枚
- 味付け海苔 4枚
- 小麦粉 適量
- 天ぷら粉 100g
- 水 150cc

麴
ソ
ー
ス

- (麴) 甘酒 (どろっとしたもの) 大さじ2
- 塩麴 大さじ1
- 酢 大さじ1
- ごま油 大さじ1/2
- ネギ 大さじ1
- 生姜おろし 少々
- 大根おろし 大さじ2
- コショウ 少々



Medical recipes

栄養価 (1人分)
エネルギー: 434kcal
蛋白: 23.0g
脂質: 19.6g

作り方

- STEP 01** 青魚は、一口大に切り分ける
- STEP 02** ①に酒をふり、臭みを抜く
- STEP 03** ②を水で軽く洗い流し、キッチンペーパーで水気をとる
- STEP 04** 大葉と海苔でそれぞれ青魚をはさみ小麦粉をまぶす
- STEP 05** 天ぷら粉と水を合わせ、④を180℃の油で揚げ、盛り付ける
- STEP 06** 麴ソースの材料を混ぜ合わせる



一口メモ

塩麴・麴甘酒には、麴菌によって生成された酵素がたっぷり含まれています。タンパク質を分解するプロテアーゼやデンプンを分解するアミラーゼなどの消化酵素には、消化を助ける働きがあります。そのため、塩麴や麴甘酒と一緒に食べる食材をより消化吸収しやすいかたちにして身体に取り入れることができます。

また、肉や魚を塩麴・麴甘酒に漬けることで、酵素の働きによりタンパク質がアミノ酸へと分解されてうまみが増し、柔らかくしっとり仕上がります。いろいろな料理に調味料として使ってみてはいかがでしょうか。

(担当: 調理師 西本)

ACCESS

当院へのアクセス方法

🚗 高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、すぐ次の信号を左折（水島インターより約3分）。

🚗 一般道から

県道児島線（21号線）を児島方面へ向かい、水島インター前のガソリンスタンド（ENEOS）のY字路左側。

🚆 JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車、タクシーで約10分。

🚌 バスでは

倉敷駅前バスステーション6番ホームから下電バス「JR児島駅行き（天城線）」で約40分。「チクバ外科前」バス停にて下車、徒歩約1分。



チクバ外科
胃腸科・肛門科病院

〒710-0142 岡山県倉敷市林2217 TEL 086-485-1755 FAX 086-485-3500

[診療受付時間] 午前 8:15~11:30 / 午後 12:30~17:00 ※ストーマ外来 予約制

<http://www.chikubageka.jp>

はなし×ちくば

チクバ外科胃腸科肛門科病院 広報誌
第30号 2023年4月発行

広報誌「はなし×ちくば」は、患者さんや医療従事者の皆さんに専門性の高い医療活動をより分かりやすく紹介しています。タイトルとおり「はなしかける」ように発信することで、よりよい関係を築いていくことを目指します。

今回は、チクバ外科の現在を支える現役の役割者に集ってもらいました。昨年開設50周年を迎え、今までの歴史や変革、実績を振り返りながら、新たな気持ちで今年度もスタートしています。医療を取り巻く環境は急激に変化しており、アフターコロナを見据えた体制構築が急務となっております。これからも創業者の思いをつなぎ、みなさまに必要とされる病院として地域のお役に立ちたいと思います。



編集
後記